

## インドネシア共和国法務事情 (2) ー70年以上に亘る安定のもたらすもの

ミャンマーのご報告をひとまず終わり、次のシリーズをどの国にするか考えましたが、私の事務所で行う国際法務セミナーでのアンケートから、インドネシアを選ぶことにしました。インドネシアは、契約案件に何度か関わるだけで、現実に仕事でジャカルタにも訪れたことがなく、またあまり司法に期待ができず、2011年5月号でお伝えしたとおり外国判決の承認執行制度がないなど、法的にはなかなか親しみにくい国だと思っていた私は、現地を見て、ジャカルタの弁護士さんに会って話を聞いてみることにしました。

翌日が祝日であることを知らずに、3月29日金曜日の面談をお願いしたところ、お祈りの後ならいいですよと快く返事を下さった Professor, Dr. Insan Baudi Maulana 弁護士に会えることが決まりました。

### 1. 大渋滞は、国の豊かさが理由か？

前日の夕刻ジャカルタ入りした私と友人を待っていたのは、高速道路の大渋滞。渋滞がなければ40分で着いた距離を、2時間以上掛けてホテルに到着することとなりました。休日前の夕方、相当数のトラックと新車らしい日本車、韓国車、ドイツ車等の乗用車があふれていました。その後に訪れたソロ（ガイドさんによれば日本の奈良に相当）、ジョクジャカルタ（日本で言うと京都）でもひどい渋滞に遭いました。幹線道路は、山道も含め全て舗装された立派な道路だった事からすると、渋滞の理由は自動車の普及率の高さかと思われ、それだけ豊かな国民が多いことを感じました。但し、流通の障害になっていることは事実で、更なる経済発展を遂げるには、交通インフラの整備が喫緊の課題のようです。

### 2. 電気の普及

Maulana 弁護士にお会いし、いくつかの資料をもらい、5月にインドネシア投資セミナーの講師をお願いして、その後ソロに飛びました。翌日は、スクー、チェトという1500メートルくらいの高地にあるヒンズー遺跡を訪れました。その高さまで全面にジャワティーンが栽培されていましたが、さらに驚いたのはその高さまで電気が通っていたことです。その後ボロブドゥールに向かう途中ムラピ山という2800メートルの高さの山の周囲を通りましたが、ここでも1500メートルくらいのところには電気がついている集落が点在し、電気の普及がこのようなところにも及んでいることがわかりました。ガイドさんの話でも、ほとんど停電はないそうです。インフラの大事な点の一つである電気事情は問題なさそうです。

### 3. インドネシアの宗教

Maulana 弁護士も、ガイドをしてくれた皆さんも皆イスラム教徒で、街には時々コーランが流れています。女性は多くが色とりどりのスカーフの様なもので顔以外を隠していて、イスラム教徒であることが分かります。ガイドさんに因れば85%程がイスラム教徒だとのこと。ガイドブックによると、イスラム教徒が増えた理由は、胡椒の産地であるインドネシアに多くのアラブ商人が買付に来ていたことから段々に影響を受けたとのこと、あまり原理的な感じはありません。テレビのバラエティー番組では、女性は頭に何もかぶらずミニスカートで踊っていたので、どの程度強い宗教的な強制があるのかも分かりません。

### 4. 人口と投資環境

ジャワ島には2億3000万人を超える人口の6割が住んでいるといわれ、これ以上の人口増を避ける為、政府は子供を2人までに制限する施策をとり、特に女性に避妊の方法を教え、ピルを支給するなどしているようです。ガイドさんによれば、若い人達は、相当の教育を身につけ、汚い仕事は嫌だなどと言うそうです。電気等のインフラが整備されているので、ジャカルタやスラバヤ(日本の大阪だそうです)を離れた工業団地等では十分な生産能力が有るように思いますが、今後それ以上に期待されるのは消費マーケットとしてのように感じます。ジョクジャカルタのカルフルにも立ち寄りしましたが、スーパーには商品があふれていて、人々の購買意欲は旺盛のようです。

### 5. 法的トピックス

Maulana 弁護士から聞いて一番驚いたのは、独占禁止法の執行に積極的であるという点でした。外国投資法だけでなく、インドネシアでビジネスをするにはこのような点も配慮が必要かと思われます。次回以降、海外投資、知的財産の保護、紛争解決法、税金の問題、独占禁止法などについてお伝えしていくつもりです。

最後に、ジャワ島で会った人達は、Maulana 弁護士を含め、70年間に亘る平和を享受してきた国に相応しいおおらかな優しさを持っているように感じ、一度で好きになった国です。

筆者 弁護士法人苗村法律事務所 弁護士 苗村博子

※無断での転載、複製、送信、翻訳・翻案、改変・追加などの一切の行為はご遠慮ください。